

3つのだいじ

- ★やさしさはだいじ
- ★まなびはだいじ
- ★がんばりはだいじ



学力特集号

令和3年12月20日
北九州市立筒井小学校
校長 山口 典子

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語	無解答も少なく、特に「書くこと」の領域は正答率が高く、自分の考えを解答しようとする姿勢が見られた。 「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域で「文章から読み解く力」に課題が見られた。
算数	「数と計算」「測定」の領域の正答率は高く、記述式の問題にも粘り強く取り組んでいた。 「図形」「変化と関係」「データの活用」の領域で「数値を読み解く力」に課題が見られた。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none">・商店街とのかかわりが強い地域であり、コロナ禍ではあるが少しずつ開催されている地域行事にも参加しているため、地域や社会への関心は全国比より高い。・本年度、教育委員会より「よい歯の学校賞 教育委員会賞」を受賞するなど、家庭における歯磨き習慣をはじめ、基本的な生活習慣に関する意識は全国比より高く、安定している。・学校での学習習慣に関する意識、児童の規範意識及び自尊感情、家庭における学習習慣は全国比と同程度。・1日30分以上読書している割合は全国比と比べると7.3%高いが、1時間以上の割合は全国人比と比べると2.4%低い。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

<ul style="list-style-type: none">・朝自習では「読書タイム」を継続したり、子ども読書の日等の読書週間では全校放送で取り組みを紹介したり、学習後の学級活動の時間に読書活動を推奨したりするなど、読書に親しむ時間を増やす。・国語科では、学力定着サポートシステムを生かして「文章から読み解く力(修飾・被修飾の関係)」の補充学習の充実を図るとともに、ミニ漢字テストなどを継続して行い、新出漢字の定着を図る。「話す・聞く」の学習の際には、具体物を示しながら説明することに重点を置いた指導を行い、目的に応じて「話す力・聞く力」の育成を図る。・算数科では、朝自習の算数タイムの中で学力定着サポートシステムを生かし、「図形」「変化と関係」「データの活用」に重点をおいた補充学習の充実を図る。・タブレット端末を活用した練習問題を積み重ね、「数値を読み解く問題等」についてつまずきの見られた児童には、個に応じた指導支援に努める。

② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none">・家庭学習については概ね定着しているため、今後は自主学習により一層取り組むことができるよう、家庭学習の進め方の参考例として、月に一度参考となる児童の家庭における自主学習ノートを拡大掲示する。・子ども図書館における子ども電子図書館活用を促すなど、読書活動の啓発を行う。
--